

「地域の宝」文化財を活かしたまちづくり

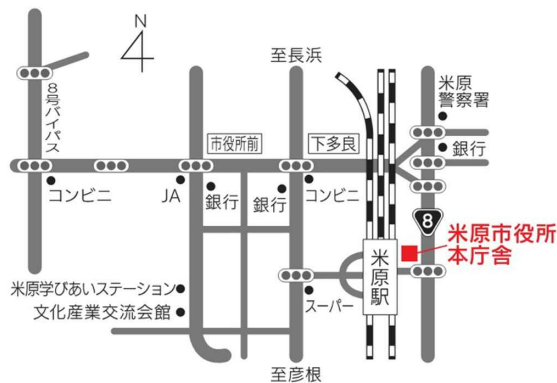
【ご注意：あらかじめご了承ください】

- 聴講に際してはマスクの着用をお願いします。 ○会場での検温と手指の消毒にご協力ください。
- 当日体調不良の方や、37.5度以上の発熱のある方は入場をお断りします。
- 講演やシンポジウム終了後の質疑応答は行いません。
- ★新型コロナウイルス感染症の状況により、中止や内容変更をする場合があります。(下記までご確認ください)

梓川の桜(河内)

2022 3. 13 (日)

会 場:米原市役所本庁舎 コンベンションホール
(JR米原駅東口/米原市米原1016番地)



定員/150人
申込不要/参加費無料

【内 容】

あいさつ、趣旨・地域計画説明 13:30~13:50

●調査・活動報告 13:50~14:50

演 題:

「2020年の杉沢遺跡調査成果と文化遺産としての活用」

講 師:立命館大学文学部 教授 矢野 健一 氏、学生

●シンポジウム 15:05~16:30

テーマ:「地域の宝」文化財を活かしたまちづくり

パネラー:

立命館大学文学部	教授	矢野 健一 氏
番場の歴史を知り明日を考える会	会長	泉 峰一 氏※
池下区史編さん委員会	代表	三山 元暎 氏※
河内まちづくり委員会	委員長	山本 太一 氏

(※印:米原市文化財保存活用地域計画策定委員)

コーディネーター:

滋賀県立大学人間文化学部 教授 市川 秀之 氏
(米原市文化財保存活用地域計画策定委員長)

主催:米原市教育委員会

問合せ先:米原市教育委員会生涯学習課 〒521-8501 滋賀県米原市米原1016 Tel0749-53-5154 fax0749-53-5129

E-mail:rekishi@city.maibara.lg.jp

「地域の宝」文化財を活かしたまちづくり

日本の中央に位置する滋賀県米原市は、琵琶湖と伊吹・霊仙の自然に育まれた歴史文化に恵まれたまちです。米原の人々は、この地に特色ある歴史・文化・風土・生業(なりわい)を生み出すとともに、地域の歴史を語るいくつもの「物語」を紡(つむ)ぎだしてきました。

しかし、急速な少子高齢化や中山間地域での人口減少、地域の伝統行事に関する関心の低下や地域コミュニティの希薄化が進み、これまで地域で守り伝えられてきた歴史文化の保存や継承が困難になりつつあります。さらに、新型コロナウイルスの蔓延が追い打ちをかけている状況です。

こうしたなかでも、市内ではまちづくりの取組の中で、文化財を「地域の宝」として位置付け、里山の城跡を舞台にした活動や、自治会史の発行をきっかけにした地域の再発見事業などが行われています。このような動きを支援し協働するとともに、これまでに行ってきた様々な調査で収集してきた歴史文化に関する情報を集約し、地域振興や観光施策へ活用し、米原らしさを活かした文化財の保存活用のための総合的な指針「米原市文化財保存活用地域計画」の策定を進めています。

今回は、令和2年に、地域と大学がともに行った杉沢遺跡(米原市杉澤)の成果とともに、遺跡を地域にどう活かすかを提示いただいたあと、文化財を「地域の宝」ととらえて活動されている団体を交えたシンポジウムを行い、文化財の保存活用のこれからを考えます。

自治会史作成や
まちづくりのヒント満載!

令和4年 3月 13日(日)
13:30~16:30

【立命館大学文学部と杉澤自治会】

杉沢遺跡は、明治時代から土器や石器が出土することで知られた縄文遺跡です。教育委員会では立命館大学文学部と協働で、平成23・24、29・30年度と令和2年度に発掘調査を行いました。この調査には、杉澤自治会から全面的にご協力をいただき、宿舎の紹介、休憩所やトイレの提供、野菜などの差し入れがありました。また、学生たちは、杉澤区夏祭りの準備やスタッフとして参加して地域の方々と交流を図りながら調査状況を紹介し、子どもたちの発掘体験の指導を行いました。

【番場の歴史を知り明日を考える会】

平成4年に設立。現在、東西番場自治会の有志18人で活動されています。地域内にある鎌刃城跡、番場城跡、今福寺跡などの史跡の草刈りや案内板の設置、散策道の保全。霊仙山麓トレッキングの開催とトレイルランニングの支援にともなう里山の保全。空き家を活用した番場資料館開設・運営(彫刻家泉亮之の顕彰と史跡案内)、番場資料館だよりの発行。琵琶湖一周のろし駅伝の開催。近江古代史文庫(立命館大学山尾幸久名誉教授の蔵書2万冊)の開設など、その活動は先進的であり、多彩です。

【池下区史編さん委員会】

平成25年設立。有志5人を中心に池下自治会の協力者で活動されています。ふるさと再発見を目的に自治会史『三島池の郷 池下物語』を発行され、その後も、池下区に係る古文書などの資料収集と歴史研究を続けておられ、その成果をもとに月1回広報「池下区史だよりの発行し、全世帯と山梨図書館に配布されています。このほか、地域の食文化の伝承、ワークショップやふるさとウォークの開催、歴史的遺産のPR(石柱など)とともに、学校の郷土学習に対するサポートとして三島池の伝説を紙芝居にして上演されています。

【河内まちづくり委員会】

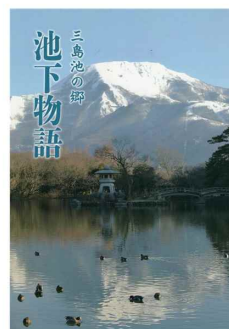
平成28年設立。自治会内の自主活動団体代表者20代~70代14人で活動されています。先人が築き上げてきた良き伝統文化の継承と自然豊かな河内自治会の再確認、その良さを生かした活動を推進し、持続可能なまちづくりを目指して、自治会史『令和に見る河内百選』を作成され、八講師城跡などの草刈りや案内板の設置による文化財や里山の保全、伝統行事の伝承、古文書調査による歴史研究、広報誌・SNS等による情報発信、ふるさとウォークの開催、想い出の風景や民具の展示した認知症予防対策に取り組まれています。



杉沢遺跡発掘調査の様子(令和2年9月)



鎌刃城まつりでの河南中学生ボランティア活動の様子



『三島池の郷 池下物語』



河内区まちづくり委員会

『令和に見る河内百選』